

# 2024年3月期

## 第2四半期 決算説明資料

第100期：第2四半期累計期間  
(2023年4月1日～2023年9月30日)

2023年10月26日

思いをこめて、あしたをつくる  
Passion in Creating Tomorrow

太平洋互業株式会社

1. 2023年度 第2四半期業績
2. 2023年度 通期予想
3. トピックス

## 本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

# 1-1 2Q 連結業績



## 堅調な自動車生産により販売物量が増加し、売上・利益ともに過去最高

(億円、%)

	2022年度 2 Q累計実績	2023年度		前年同期比		予想比	
		7/27発表 2 Q累計予想	2 Q累計実績	増減	増減率	増減	増減率
売上高	909	975	<b>過去最高 1,026</b>	+117	+12.9	+51	+5.3
営業利益	26	55	<b>過去最高 74</b>	+48	+188.0	+19	+36.3
営業利益率	2.9%	5.6%	<b>7.3%</b>	+4.4P	-	+1.7P	-
経常利益	55	78	<b>過去最高 103</b>	+47	+86.4	+25	+32.5
経常利益率	6.1%	8.0%	<b>10.1%</b>	+4.0P	-	+2.1P	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	41	50	<b>過去最高 75</b>	+33	+82.3	+25	+50.6
四半期純利益率	4.5%	5.1%	<b>7.3%</b>	+2.8P	-	+2.2P	-
平均為替レート (米ドル)	129.8円	132.8円	<b>139.9円</b>	+10.1円	-	+7.1円	-

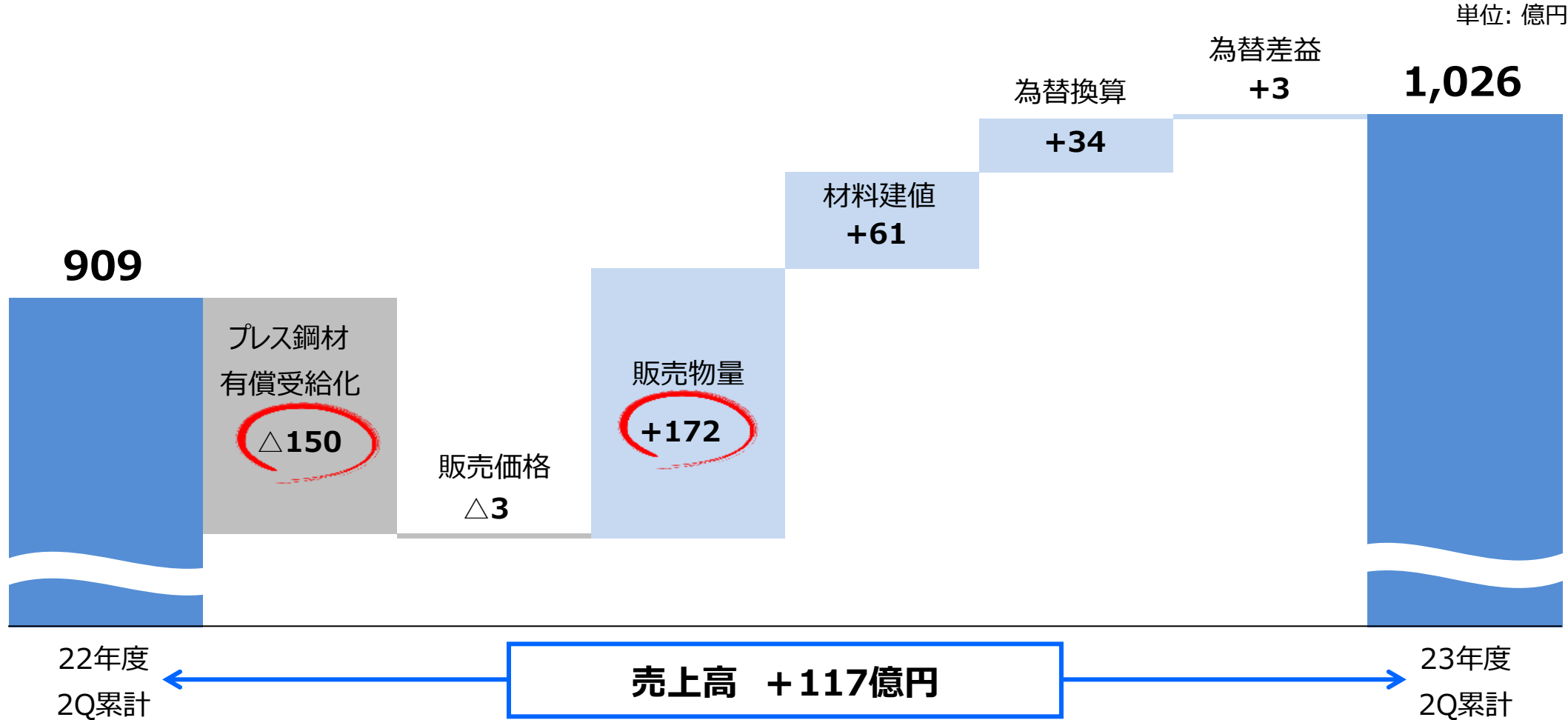
※2022年度第4四半期以降、プレス鋼材の有償受給化による売上高と売上原価の相殺表示対象増加により、売上高が減少しています。

2023年度第2四半期累計実績には、上記影響により、前年同期比150億円の売上高減少が含まれています。利益への影響はありません。

# 1-2 2Q 連結売上高 増減要因

プレス鋼材有償受給化による減収以上の販売物量増加により、2Qとして過去最高

単位: 億円

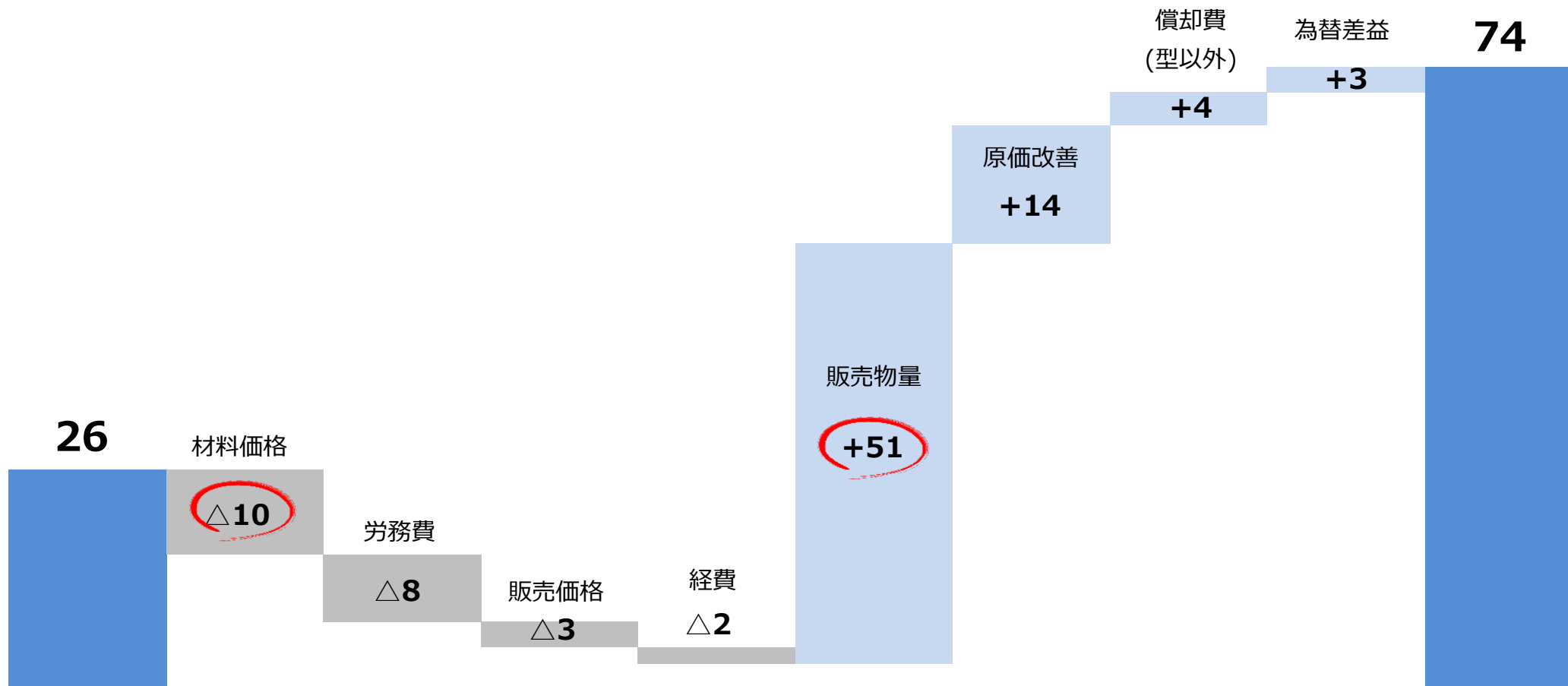


# 1-3 2Q 連結営業利益 増減要因



生産物量増加によりコストは増加、販売物量増と原価改善により2Q累計で過去最高益

単位: 億円



22年度  
2Q累計

営業利益 +48億円

23年度  
2Q累計

# 1-4 2Q 連結事業別セグメント



プレス・樹脂は販売物量増加により増収・増益  
バルブは為替影響で増収、材料高によるコストアップで減益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22/2Q 累計実績	23/2Q 累計実績	前年同期比		22/2Q 累計実績	23/2Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>プレス・樹脂</b>	638	<b>741</b>	+103	+16.2	1	<b>55</b>	+53	-
(プレス鋼材有償受給化影響)		※ (△150)						
営業利益率					0.3%	<b>7.5%</b>	+7.2P	
<b>バルブ</b>	269	<b>284</b>	+14	+5.3	23	<b>19</b>	△4	△18.3
営業利益率					8.8%	<b>6.9%</b>	△1.9P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

# 1-5 2Q 連結地域別セグメント



## 日本、欧米、アジアともに販売物量増加により増収・増益

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	22/2Q 累計実績	23/2Q 累計実績	前年同期比		22/2Q 累計実績	23/2Q 累計実績	前年同期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>日本</b>	338	<b>341</b>	+3	+0.9	15	<b>38</b>	+22	+145.1
(プレス鋼材有償受給化影響)		※ (△150)						
営業利益率					4.6%	<b>11.2%</b>	+6.6P	
<b>欧米</b>	379	<b>473</b>	+94	+24.9	△3	<b>15</b>	+18	-
営業利益率					△0.9%	<b>3.2%</b>	+4.1P	
<b>アジア</b>	191	<b>211</b>	+19	+10.4	11	<b>14</b>	+2	+22.6
営業利益率					6.0%	<b>6.7%</b>	+0.7P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

1. 2023年度 第2四半期業績
- 2. 2023年度 通期予想**
3. トピックス



# 2-1 通期 連結業績予想



## 2Q累計実績と最新情報を踏まえ通期予想を見直し、売上・利益ともに過去最高を見込む

(億円、%)

	2022年度	2023年度		前期比		7/27発表比	
	通期 実績	通期予想		通期		通期	
		7/27発表	今回見直し	増減	増減率	増減	増減率
売上高	1,912	1,900	<b>1,980</b>	※3 +67	3.5%	+80	4.2%
営業利益	92	105	<b>120</b>	+27	29.1%	+15	14.3%
営業利益率	4.9%	5.5%	<b>6.1%</b>	+1.2P	—	+0.6P	—
経常利益	132	140	<b>150</b>	+17	13.6%	+10	7.1%
当期純利益 ※1	93	95	<b>105</b>	+11	12.9%	+10	10.5%
ROE	7.0%	6.6%	<b>7.1%</b>	+0.1P	—	+0.5P	—
ROA(営業利益ベース)	3.7%	3.9%	<b>4.5%</b>	+0.8P	—	+0.6P	—
一株当り純資産	2,309円	2,590円	<b>2,712円</b>	403円	17.5%	122円	4.7%
平均為替レート(米ドル)	134.9円	131.4円	※2 <b>140.0円</b>	5.1円	—	8.6円	—

※1 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益です。

※2 第3四半期以降の為替レート前提を、前回7/27発表値 130円/\$から、今回予想値 140円/\$に見直しています。

※3 2022年度第4四半期以降、プレス鋼材の有償受給化による売上高と売上原価の相殺表示対象増加により、売上高が減少しています。

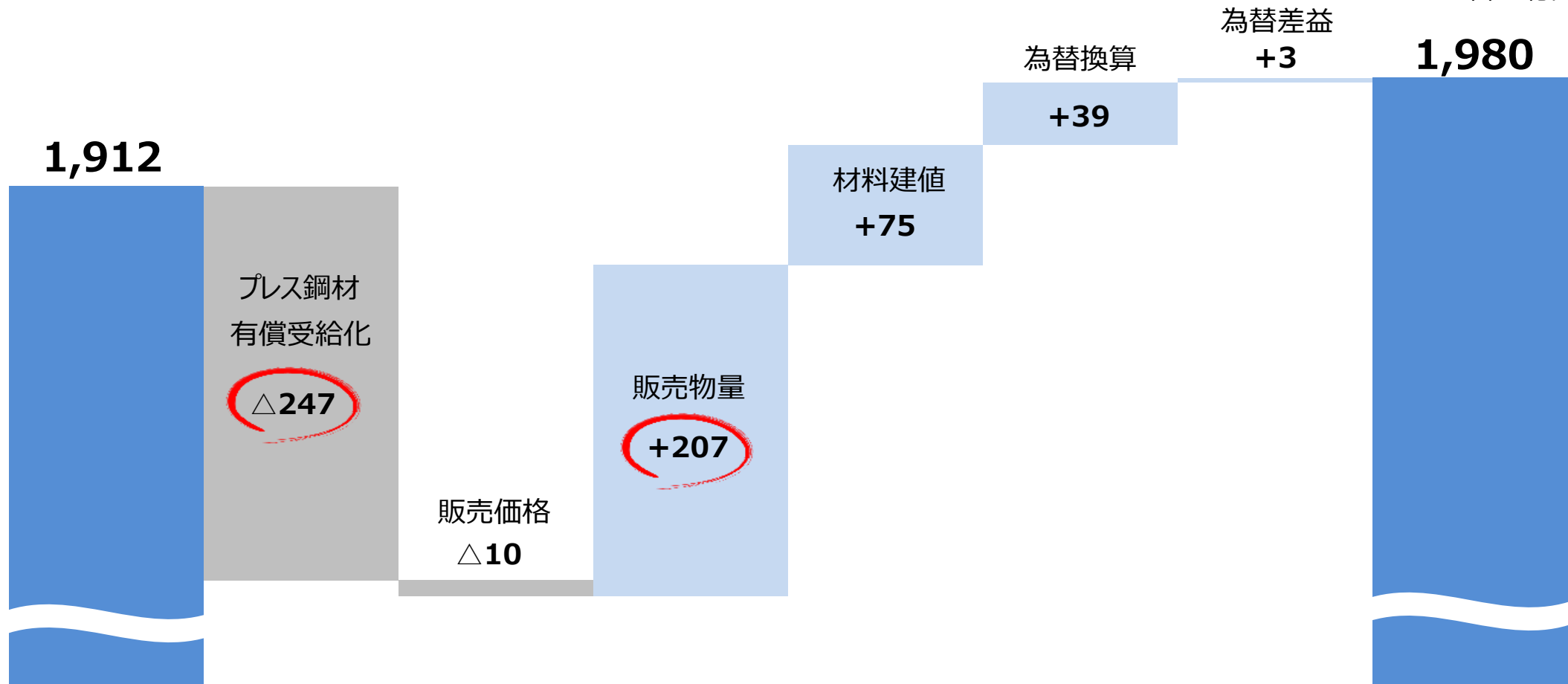
2023年度は、上記影響により、前期比247億円の売上高減少が含まれています。利益への影響はありません。

# 2-2 通期 連結売上高 増減要因



プレス鋼材有償受給化による減収を販売物量増加でカバーし、過去最高となる見込み

単位: 億円



22年度 ←

売上高 +67億円

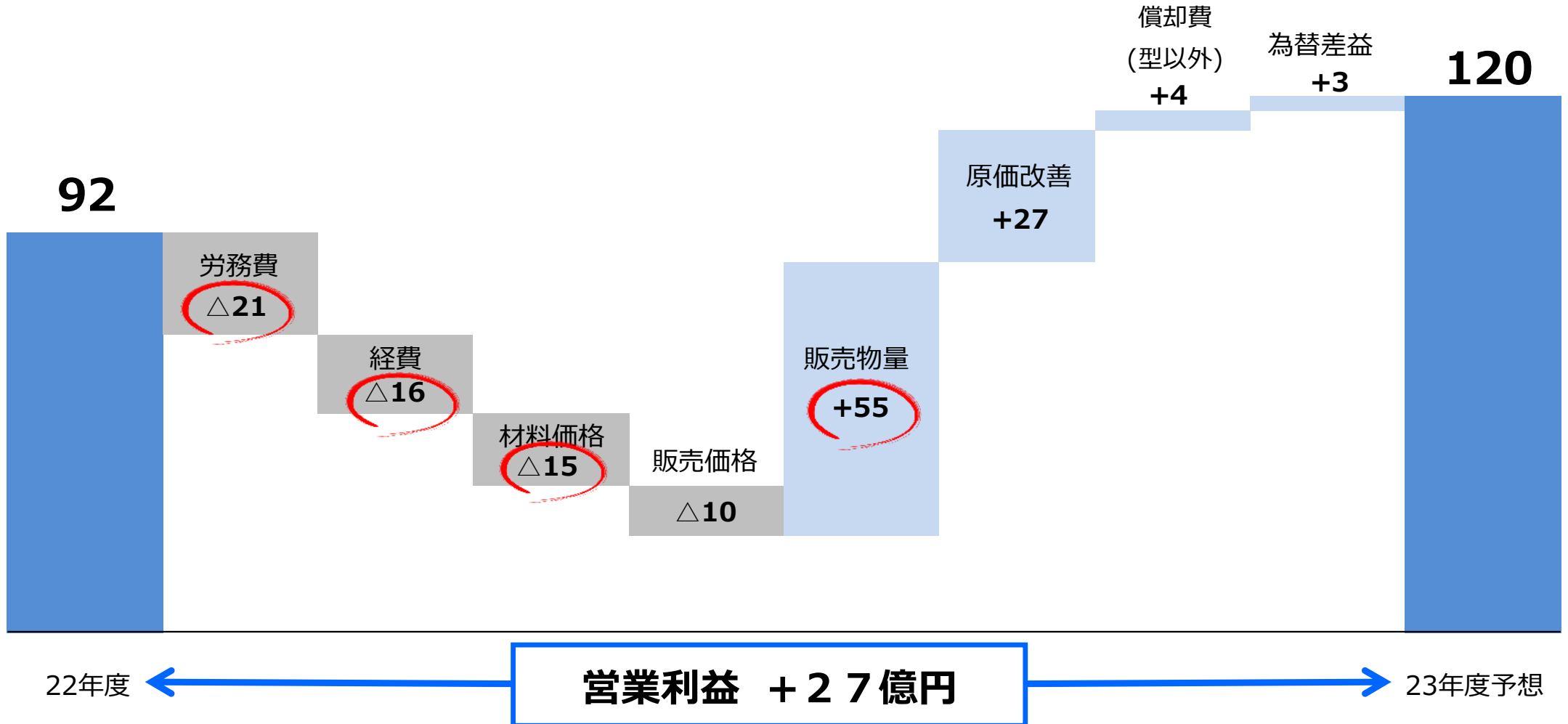
→ 23年度予想

# 2-3 通期 連結営業利益 増減要因



生産物量増加によりコストは上昇、販売物量増加と継続的な改善で過去最高益となる予想

単位: 億円



## 2-4 通期 連結事業別セグメント



プレス・樹脂は販売物量増加により増収・増益、バルブは増収・減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	前期比 増減率	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	前期比 増減率
<b>プレス・樹脂</b>	1,368	<b>1,425</b>	+56	+4.2	49	<b>84</b>	+34	+68.7
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	※ (△298)	(△247)					
営業利益率					3.6%	<b>5.9%</b>	+2.3P	
<b>バルブ</b>	542	<b>550</b>	+7	+1.5	42	<b>36</b>	△6	△15.5
営業利益率					7.9%	<b>6.5%</b>	△1.4P	

※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

## 2-5 通期 連結地域別セグメント



日本、欧米は実質的に増収・増益、アジアは減収・減益を見込む

(億円、%)

	売上高				営業利益			
	2022年度 実績	2023年度 予想	前期比		2022年度 実績	2023年度 予想	前期比	
			増減	増減率			増減	増減率
<b>日本</b>	706	<b>685</b>	△21	△3.0	49	<b>59</b>	+9	+18.2
(プレス鋼材有償受給化影響)	(△51)	※ (△298)	(△247)					
営業利益率					7.1%	<b>8.6%</b>	+1.5P	
<b>欧米</b>	781	<b>880</b>	+98	+12.7	△1	<b>28</b>	+29	-
営業利益率					△0.2%	<b>3.2%</b>	+3.4P	
<b>アジア</b>	425	<b>415</b>	△10	△2.4	36	<b>26</b>	△10	△29.5
営業利益率					8.7%	<b>6.3%</b>	△2.4P	

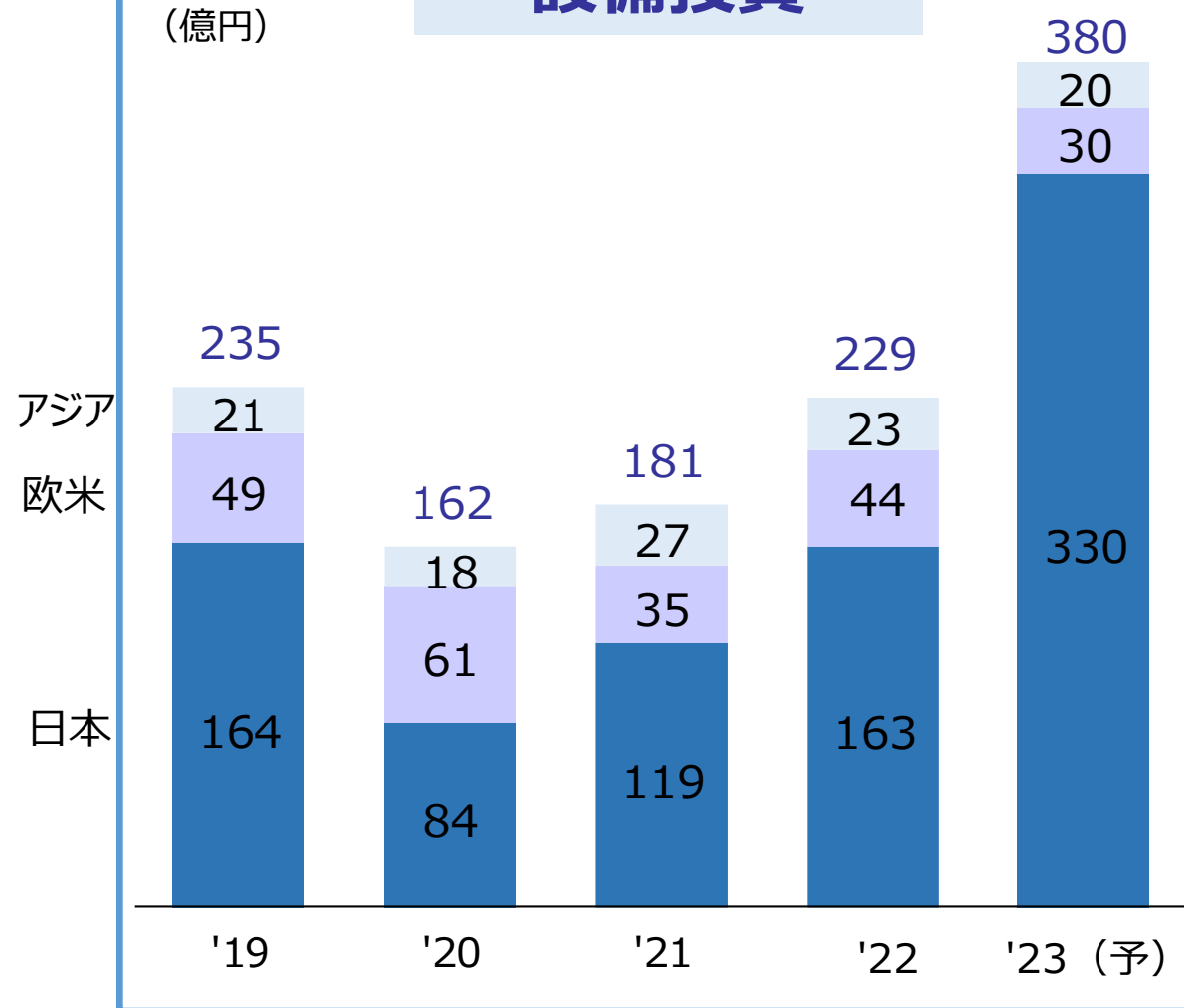
※2022年度第4四半期より、プレス鋼材有償受給化による売上減少が含まれています。利益への影響はありません。

# 2-6 連結設備投資・減価償却費

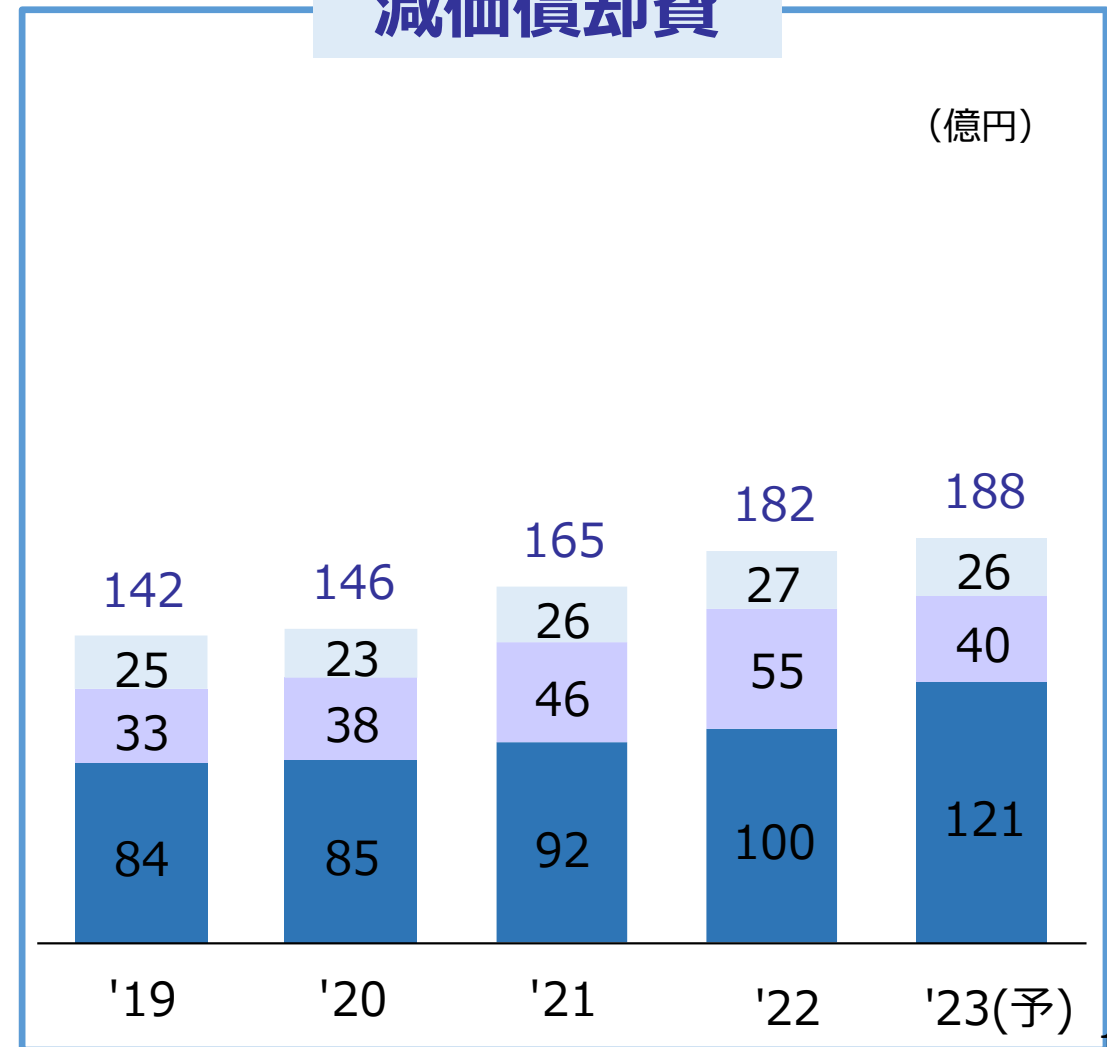


プレス新工場やバルブ新製品生産ラインなどの積極投資を実施。

## 設備投資



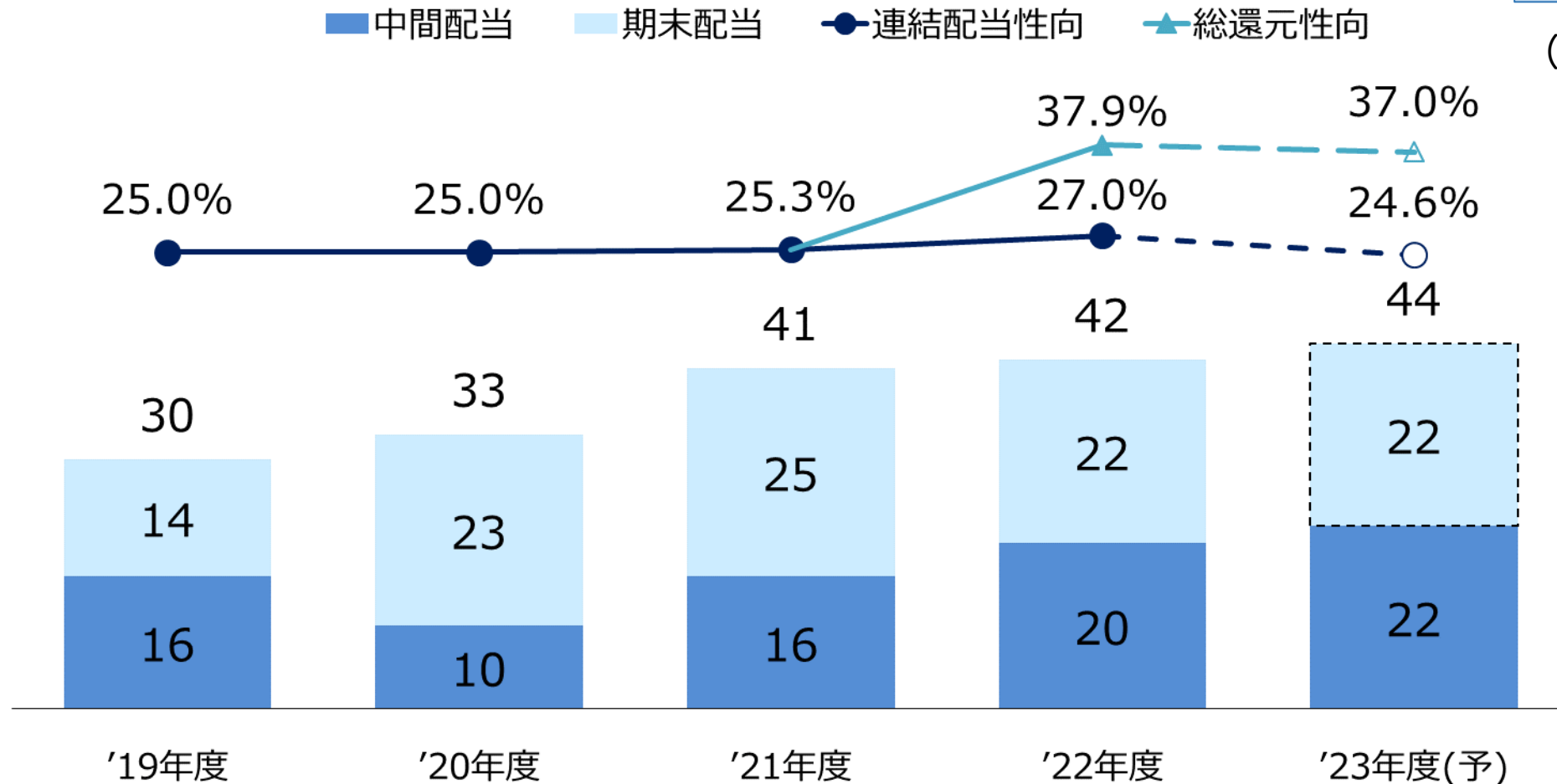
## 減価償却費



# 2-7 株主還元

第2Qの連結業績および通期予想を考慮し、配当予想を修正  
 株主還元・資本効率向上を目的として、4月に自己株式取得を実施済

日本格付研究所  
 長期発行体格付  
 A-安定的



1. 2023年度 第2四半期業績
2. 2023年度 通期予想
3. **トピックス**



# 3 トピックス

中長期の成長に向けた取組みを推進し、企業価値の向上をめざす

## 東大垣新工場 稼働開始



- 新プレス工場 2 期工事完了、11月より順次稼働、生産能力増強
- 働きやすい職場環境を整備
- 金型工場、開発センターを順次新設

## 電動膨張弁 生産開始



- BEVの熱マネジメントシステム内でバッテリー冷却用に採用
- 2023年4月より生産開始

## 統合報告書 発行



- 今回より統合報告書として発行
- 統合思考で当社の価値創造ストーリーを開示

<https://www.pacific-ind.co.jp/investor/ctr/>



思いをこめて、あしたをつくる

Passion in Creating Tomorrow